

# 104-345

## 問題文

75歳男性。骨粗しょう症と脂質異常症の既往があり、アレンドロン酸錠35mgとロスバスタチン錠2.5mgを服用中であった。半年前から残尿感の自覚と尿勢の低下を認めていた。

検診で、前立腺特異抗原(PSA)が37.18ng/mLであった。精密検査の結果、前立腺がんの診断を受け、ホルモン療法が開始された。

(処方1)

リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75 mg    1キット  
4週間に1回    皮下注射

主に初回投与初期に出現する副作用はどれか。1つ選べ。

- 1. ほてり
- 2. LDLコレステロール値の上昇
- 3. 血栓塞栓症
- 4. 骨密度の低下
- 5. うつ状態

---

## 解答

1

## 解説

リュープロレリンは、ゴナドトロピン放出ホルモン（Gn-RH）アゴニストです。男性ホルモンを低下させる薬と考えればよいです。そのため、更年期症状のような、発汗、ほてり等が一時的に出ることがあります。

以上より、正解は 1 です。